

# 衆議院農林水産委員会ニュース

平成 30. 4. 17 第 196 回国会第 10 号

4 月 17 日（火）、第 10 回の委員会が開かれました。

## 1 ①森林経営管理法案（内閣提出第 38 号）

### ②独立行政法人農林漁業信用基金法の一部を改正する法律案（内閣提出第 39 号）

- ・齋藤農林水産大臣、磯崎農林水産副大臣、野中農林水産大臣政務官、平木経済産業大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・両案に対し、田村貴昭君（共産）が討論を行いました。
- ・①について採決を行った結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。  
（賛成－自民、立憲、希望、公明、無会、維新 反対－共産）
- ・鈴木憲和君外 5 名（自民、立憲、希望、公明、無会、維新）から提出された附帯決議案について、大河原雅子君（立憲）から趣旨説明を聴取しました。
- ・採決を行った結果、賛成多数をもってこれを付することに決しました。  
（賛成－自民、立憲、希望、公明、無会、維新 反対－共産）
- ・②について採決を行った結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。  
（賛成－自民、立憲、希望、公明、無会、維新 反対－共産）

（質疑者及び主な質疑内容）

### 小島敏文君（自民）

- ・森林環境税（仮称）の創設に対する農林水産大臣の所感を伺いたい。
- ・新たな森林管理システムが、森林所有者等の経営管理意欲を失わせることにはならないか。
- ・森林の管理には森林環境税（仮称）だけでは不十分であることから、既存の予算も確保していくことが必要ではないか。

### 江田康幸君（公明）

- ・林業の成長産業化において、新たな森林管理システムはどのような位置付けか。
- ・経営管理実施権の設定を受ける民間事業者の基準はどのようなものか。市町村が地域の林業の担い手として位置付ける中小事業者も選定されるのか。
- ・森林環境譲与税（仮称）の使途について、考え方を伺いたい。

### 大河原雅子君（立憲）

- ・森林経営管理法案における森林の経営管理には、生物多様性の保全も含まれているのか。
- ・森林経営管理法案は、小規模な林業経営体の成長にどのように寄与するのか。
- ・林業従事者の労働環境の改善にどのように取り組んでい

くのか。

### 亀井亜紀子君（立憲）

- ・森林作業道の作設に対する支援はどのようになっているか。
- ・再造林に対する支援のための予算を確保していくことが必要ではないか。
- ・「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」（平成 22 年法律第 36 号）施行後の公共建築物への木材利用率はどうなっているか。

### 緑川貴士君（希望）

- ・学校法人加計学園問題に対し農林水産省として取り組むべき方向性について農林水産大臣の見解を伺いたい。
- ・立木価格について最低価格を保証する制度を設ける必要があるのではないか。
- ・観光振興と高付加価値の木材加工との関係性について農林水産大臣の所感を伺いたい。

### 佐藤公治君（希望）

- ・学校法人加計学園問題に係る愛媛県が作成した面会記録（以下「愛媛県文書」という。）に関する愛媛県知事による会見についての農林水産大臣の所感を伺いたい。
- ・今回のような危機管理案件に際して、農林水産大臣はど

のような指示行動を行ったのか。

- ・農林水産省が愛媛県文書を要求したとの報道について、農林水産大臣は認識しているか。

### **金子恵美君（無会）**

- ・学校法人加計学園問題の真相解明に向けて、農林水産大臣はどのような姿勢で臨むのか。
- ・市町村が円滑に運用できるよう市町村相互による森林所有者等の森林情報の共有についてどのように考えているのか。
- ・森林経営管理法案において、素材生産業者はどのように位置付けられているのか。

### **田村貴昭君（共産）**

- ・農林水産省が愛媛県文書を受け取った後、農林水産省と

して政策的な変化はあったか。

- ・立木価格の低下の要因はどこにあるのか。
- ・森林経営管理法案において山林所有者に利益が還元される保証はあるのか。

### **森夏枝君（維新）**

- ・所有者不明土地問題に対する関係省庁間の連携について、法務省及び農林水産省の見解を伺いたい。
- ・独立行政法人農林漁業信用基金の林業信用保証制度について、債務保証を受けるための規模要件や出資持分の払戻しの禁止が、規模拡大のネックとなった事例はあるのか。
- ・農林漁業信用基金法改正案による林業者の規模拡大の見通しについて伺いたい。